

ゴルフの基礎知識

1、ゴルフ場の定義

ゴルフ競技を行う為の施設を提供する事を業務として営んでいる事業所を言います。

具体的にはホール数が 18 ホール以上で有り、かつコースの総延長をホール数で除して得た数値が 100 メートル以上の施設及び 18 ホール未満の物であっても、ホール数が 9 ホール以上で有り、かつホールの平均距離が概ね 150 メートル以上の施設を言います。

2、ゴルフの基本用語

1) コース全長とホールの距離

ティーインググラウンドからグリーン中央迄の距離を「全長」と言い、それによってパー（基準打数）数が決まります。

男子	P A R	女子	通常名称
250 ヤード以下	3	210 ヤード以下	ショートホール
251 ヤード～470 ヤード	4	211 ヤード～400 ヤード	ミドルホール
471 ヤード以上	5	401 ヤード～575 ヤード	ロングホール

全長はティーからグリーン中央までの直線距離ではなく、理想的なショットを図面上で見た場合の距離の合計。

パー 5 の場合、1 打目、2 打目、3 打目の理想的な落下地点を直線で結んだ距離の合計が全長となり、コース上の起伏は考慮されません。

2) ゴルフゲームとは

項 目	用 語
スタート地点からクラブと呼ばれる専用の打棒でボールを打ち	club
目標とする穴にボールが入るまでの回数を競うゲームです	cup
この穴はホールとも言うが、金属の筒を埋め込んでいる為カップとも言う	hole
またこの試合場そのものこともホール（又はコース）といいます	course
通常 1 試合は 1 8 個のホールの合計打数で競い	1 round
前半 9 ホールはクラブハウスを起点とし go out という事でアウト	out
後半 9 ホールは戻ってくる come in という事でインと言います	in
試合の運営の都合により、先にインからプレーし、あとでアウトに回る場合もある。	
なお、合計打数で競う方法（stroke play）の他に、各ホール一番優秀な成績の人がポイントを獲得して、ポイントの合計数で争う方式（match play）も有ります。	

3) ティーインググラウンド

手 順	用 語
最初にボールを打ち始める時は台座に乗せて打つ	tee
ティーを差す場所をティーインググラウンド	teeing ground
この最初の一打のことをティーショット	tee shot
ここでボールを打ち始めることをティーオフ	tee off
また打つ前にボールをティーに乗せることを ティーアップと言います。	tee up

4) グリーン

状 況	用 語
目的のカップの周辺は他より少し盛り上がって芝生になっており、その部分のことをグリーンと言う	putting green
グリーンの中のカップの位置が、遠くからでも分かるように旗が立っている。この旗をフラグまたはピンと言う	flag ・ pin
グリーン上でカップめがけて打つショットのことをパットと言う	putt
グリーンの周りからカップの近くにめがけて打つショットのことをアプローチという	approach
グリーンに実際にボールを乗せることをオンという	on
カップにボールを沈めてそのホールを上げることをホールアウト	hole out
グリーンの周りからカップめがけて打ったショットが直接入ることをチップインと言い	chip in
ティーグラウンドで打った第一打が直接カップに飛び込むことをホールインワンと言う。	hole in one

5) フェアウェイ、ラフとハザード

区 分	用 語
ティーグラウンドからグリーンまでの間、順当な方向にそって芝が短く刈られている部分を、フェアウェイという。	fairway
その両脇は芝がかなり伸びていてボールを打ちづらい。その部分をラフという。	rough
バンカーとは、地面から芝や土を取り払い、代わりに砂などを入れて作った区域と定義されている。	bunker
池、小川をウォーターハザード	water hazard
小さな丘をマウンドと言う	mound

6) プレーの基本

ホールの種類と打数

ホールの種類		ショートホール	ミドルホール	ロングホール
上石津	OUT	5、7番	1、2、4、6、8番	3、9番
	IN	12、15、18番	10、11、13、14番	16、17番
基準打数 (PAR)		3	4	5
イーグル		1 (- 2)	2 (- 2)	3 (- 2)
バーディ		2 (- 1)	3 (- 1)	4 (- 1)
パー		3	4	5
ボギー		4 (+ 1)	5 (+ 1)	6 (+ 1)
ダブルボギー		5 (+ 2)	6 (+ 2)	7 (+ 2)
トリプルボギー		6 (+ 3)	7 (+ 3)	8 (+ 3)
ダブルパー		6 (+ 3)	8 (+ 4)	10 (+ 5)

プレーの種類

ストロークプレー (SP)	マッチプレー (MP)
18ホールの合計打数で順位を決定	プレイヤーが1対1で対戦し1ホール毎にストローク数の多寡で勝敗を決める

ハンデキャップ

実力の違う者同士がゲームをした場合、勝敗の差がハッキリと出ます。その差を表したのがハンデキャップです。

スコアを集計する時、トータルからハンディを引く事により、実力の差を埋める事が出来ます。ハンディは36を上限とし、上達するにつれて数字が減って行きます。

小さな数字程、実力が有ると言う事で1桁の人は「シングルプレイヤー」と呼ばれる。

ゴルフではディポット跡(ショットの際に芝及び土が取れた跡)に、そのプレイヤーが自ら目土を入れ、平らに均す事がマナーとして要求されています。

3、基本ルール

ゴルフはマナーやルールが非常に重んじられ、競技者自身が審判と言われます。自然の中で行うスポーツの為、そこに有る物をそのまま受け入れゲームを続行して行く事がルールの基本と成っていてマナーとしては、削られた地面の跡は直す、グリーンを傷つけずに歩く、バンカーでは打った跡を直す等があり、ラウンド時間にしても前後の組の人達に迷惑を掛けない等有ります。(J G Aルールブックに記載)

1) 杭の色とその対応

分類	名 称	
白杭	OBゾーン	コースの範囲を飛び出すとプレー禁止区域OB (Out of Bounds) となる。OBに飛び出してしまったボールは、そこからうち続けることは許されないの、1打分追加して、元の場所から打ち直しになる。ボールがOBかどうかを判定する場合、隣接する2つの白線の内側(コース側)を結んだ線上にボールがあるかどうかで決定されます。
赤杭	ラテラルウォーターハザード	ラテラルウォーターハザードとは、規則(下記で説明)に従ってそのウォーターハザードの後方に球をドロップすることが (イ)地形的にみて不可能な位置にあるか (ロ)委員会が無理と判定した位置にあるウォーターハザードやその一部をいいます。また、球がウォーターハザード内にあるか一部でもウォーターハザードに触れている時は、その球はウォーターハザード内にある球となります。 『ラテラル』という言葉の訳せば『平行』という意味です。
黄杭	ウォーターハザード	ウォーターハザードとは、海や湖、池、川、溝、排水路などの開渠、その他これと同様のものをいいます(水の有無は問わない)。ウォーターハザード内の地面や水は、すべてそのウォーターハザードの一部となり、ウォーターハザードの限界は垂直に上下に及びます。また、球がウォーターハザード内にあるか、一部でもウォーターハザードに触れている時は、その球はウォーターハザード内にある球となります。
青杭	修理地	特定の区域(芝の育成地や若木の植樹地、その他コースの栽培用地を含む)をプレー禁止の修理地として標示する事。 標示地は白線で囲み青杭を立て、標示する。

2) ウォーターハザードとラテラルウォーターハザードの処置

ラテラルウォーターハザードは、そのホールに対し平行に川のように連なっているものが多くみられます。ではウォーターハザード、ラテラルウォーターハザードにボールが入った時はどのように処置すればよいかそれぞれ簡単に説明します。

ウォーターハザード

ティショットで打ったボールがウォーターハザードに入ったとします。この時の処置は次の通りです。

処置方法	罰 打
元の場所から打ち直す。	1
ウォーターハザードの区域を最後に横切った地点と、ピンとを結んだ後方線上(コース内でハザードの後方であれば距離に制限はない)にドロップする。	1
水の中からそのまま打つ処置もあります(クラブを水にソールしては駄目)	0

ラテラルウォーターハザード

ティショットで打ったボールが、川(ラテラルウォーターハザード)に入ったとします。この時の処置は5つあります。(上石津GCは殆どラテラルウォーターハザードです)

処置方法	罰 打
元の場所(ティインググラウンド)から打ち直す。ティショットの場合は、ティアップして打ち直すことができ、打ち直しは3打目となります	1
ウォーターハザードの区域を最後に横切った地点と、ピンとを結んだ後方線上(コース内でハザードの後方であれば距離に制限はない)にドロップする	1
ウォーターハザードの区域を最後に横切った地点からピンに近づかない所、2クラブレンジ以内にドロップする	1
ウォーターハザードの区域を最後に横切った地点からピンとを結んだ等距離の対岸、2クラブレンジ以内にドロップする。	1
水の中からそのまま打つ処置もあります(クラブを水にソールしては駄目)	0

3) ハザード内での禁止事項

禁止事項	罰 打
打つ前にクラブを地面につける事	2
砂の状態などを見る為に、手やクラブで確認する事	
葉や小石などを取り除く事	

4) その他禁止事項

その他禁止事項	罰 打
ボールを打つ前に障害となりそうな小枝を取り払ったり、地面をならしたりしてはいけない。	2
グリーンの状態を確認するためにボールを転がしたりしてはいけない。 通常ボールは、ティーオフからカップインまで触ってはいけない(ノータッチ)	2
ボールは必ず打たなければならない。クラブで押したりすくったりしてはいけない	2
プレー中に練習ストロークをしてはいけない(練習スイングは構わない)	2

5) アンプレイヤブル、ロストボール

	状 況	罰 打
アンプレイヤブル	木の枝などにひっかかってとても打てないと思われる場合、プレーヤーは自分でアンプレイヤブル(unplayable)と宣言して、そこから2クラブの距離の範囲内にボールをドロップし、そこから打ち直すことができる。但しホールに近づく方向でドロップしてはいけない。また状況によっては、元の場所に戻って打ち直しても良い。	1
ロストボール	ボールが林の中に突っ込み見つけきれなかった場合や、自分のボールがどれかわからなくなった場合はロストボールとなり、元の場所から打ち直しになる	1

6) ニアレスポイントの処置・・・無罰

球がスルーザグリーン(P7参)に有る場合、動かさない障害物や修理地等から救済を受ける時にニアレスポイントを定める。

1クラブレンジス	2クラブレンジス
障害物を避け、元の球の位置からホールに近づかず最も近い地点にニアレスポイントを定め、1クラブレンジスに球をドロップする。	ドロップした球が最初に落ちた地点から2クラブレンジス以内なら、そこからプレーを再開し、2クラブレンジス以上転がったら、再ドロップをする。

再ドロップしても転がるなら、球が最初に落ちた地点にプレース(球を置く事)し、打てる。

4、ゴルフ場での基礎知識

日本のゴルフ場で使用する芝には、大きく分けてベント芝と高麗芝という二つの芝がある。高麗芝とベント芝での、その大きな違いは、芝目の強さといえ、例えば高麗芝とベント芝の上を歩いてみるとその違いは明確です。

高麗芝の場合はガサガサした感じを覚えることと思います。そのような芝ですから、高麗芝では、球の転がりが芝目によって強い影響をうます。

一方ベント芝は、芝の葉自体が高麗芝とは異なり柔らかい為、芝目よりも傾斜に影響を受けるケースが一般的です。

また、ベントグリーンではショットの際のスピンのかかる度合いが強いですが、高麗グリーンではかかりにくい状況になります。高麗芝は夏芝で、ベント芝は冬芝です。

当コースではフェアウエー・ラフは高麗芝、ティーグラウンド・グリーンはベント芝を使用しています。

1) コース内を区分すると以下の箇所がある

項目	区分	ゴルフ用語	当コース現状
ティーインググラウンド	第一打を打つ為のスタート地点	ティーインググラウンド	Tグラウンドの一部ベント芝を高麗
フェアウエー	芝を短く刈って有る部分	スルーザ	芝に張替え中。理由は芝、管理費の削減。
ラフ	芝を伸ばして居る部分	グリーンと言う	
グリーン	パッティングの為の区域	カップ 4.25 インチ	
ハザード	コース上に設置されている危険区域の事(バンカー及びハザード)		
OBエリア	コース外の事をOB(アウトオブバウンズ)と呼ぶ。		
カジュアル・ウォーター	雨等で、コース内に出来た一時的な水溜りの事。		

2) ティーインググラウンド

2個のティーマーカーを結ぶ直線から後方に、クラブ2本分の距離がTグラウンド。

名称	特徴	18ホールの距離
バックティー	ハンディーキャップ 15 以下が使用	6,155 ヤード
フロントティー	ハンディーキャップ 36 以下が使用	5,747 ヤード
レディースティー	ハンディーキャップ 主として女性が使用	5,428 ヤード

3) グリーン関連

項 目	コース関連、基本知識
グリーンの状態	プレーヤーが求めるベストなグリーンとは のグリーン。 イメージ通に玉が転がるグリーン=グリーンが速い 玉を打っても転がらないグリーン=グリーンが遅い 当コースでは常に の状態を保つ様、整備しています。
グリーンエアレーション 4月、6月、10月実施	機械でグリーン上に5mm程度の穴を無数に開ける事 (ベント芝根に空気を送り、育成を即す為の作業)
グリーン上への砂入れ	エアレーションで開けた穴に砂を撒く事(芝根の成長を助ける為グリーンを刈る事が出来、結果としてパッティング時のスピードが速くなる)砂を入れて3日程度で落ち着く。
グリーンのピッチマーク 凹	玉がその勢いで自ら作った穴をピッチマークと言う。 (プレーヤーが修復するのがゴルフマナー)修復の仕方は凹みの外側にフォークを差し、芝の根を切らない様に凹みの中心へ向って芝をかき寄せ、最後にパターで平らにする。
グリーン上の旗の色	白・・・手前 } コースはグリーン中央で計測、各旗の距離 青・・・中央 } は中央から-10Yが白、+10Yが赤と成っ 赤・・・奥 } ている。
目土用、砂置き場	OUT3番・6番、IN13番・15番の計4ヶ所